



第21号

令和2年度上期  
放生津地域振興会  
発行責任者 宮島伊佐夫

越の海

「新会長挨拶」

放生津地区の皆様におかれましては日頃より、当地域振興会の運営に対しまして格別なご指導・ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

未だ新型コロナの収束の見通しが立たない状況で、皆様が日々の生活に御不自由されていることに対しまして、あらためて深くお見舞い申し上げます。

今年度前半は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、放生津コミュニティセンターを利用しておられる多くの住民の方々、各サークルの方、また関連諸団体の方々には大変ご不自由をおかけしました。

令和2年度初めからコミュニティセンターでのサークル活動、各種会合等の自粛により地域の皆さんと接する機会がほとんど無い状況でしたが、6月に入ってから少しづつ緩和され現在ではほとんど通常に近い状態で行っています。

しかしまだまだ感染の拡大（三密）を防ぐことが難しい為、残念ながら今後皆さんに集まっていただいて開催する主な行事（敬老会、文化祭等）が出来ない状態にありますことをどうかご理解下さい。

さらに10月1日の放生津八幡宮秋季例大祭における曳山も、巡行中止という苦渋の決断となりましたが、一日も早く新型コロナウイルス感染症が収束し、また皆様と一緒に心から楽しめるお祭りを迎えられることを願っております。

今後とも当地域振興会に対しまして地域の皆様のご支援とご協力を戴きますようお願い申し上げます。



放生津地域振興会  
会長 宮島伊佐夫

●令和2年度 放生津地域振興会役員

役職	氏名	所属団体名・役職名	備考
会長	宮島伊佐夫	東町東部自治会長	新任
副会長	宮崎 哲郎	中町自治会長	新任
〃	二口 憲夫	放生津校区社会福祉協議会会長	新任
理事	桧物 和弘	法土寺自治会長	
〃	野村 右二	山王町自治会長	
〃	鶴 廣明	天神町自治会長	
〃	四日 恵子	放生津地区白鳩ボランティア代表	
〃	生地 祐子	射水市食生活改善推進協議会	新任
監事	旭 忠秀	神保寺自治会長	
〃	杉田 寿義	射水交通安全協会放生津支部	新任
事務局長	片境 忠勝	放生津コミュニティセンター長	会計責任者

令和2年4月24日(金)総会（書面開催）において承認されました。

●6月25日(木) ミニ講座

「介護用品の正しい知識講座」



●8月20日(木) ミニ講座

「小杉爆笑劇団 “悪徳商法に気をつけろ!”」



地域支え合いネットワーク事業について

百歳体操

〈二の丸本町“若葉会”の様子〉



# 令和2年度 放生津校区社会福祉協議会だより

放生津校区社会福祉協議会 会長 二口 憲夫



放生津校区  
社会福祉協議会  
会長 二口 憲夫

放生津校区住民の皆様には、日頃より放生津校区社会福祉協議会の活動について、色々ご支援とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

この4月に前会長の野田康剛様のあと、はからずも校区社会福祉協議会の会長を引き継ぐことになり、戸惑いと責任の重さを痛感しております。

当校区においても少子高齢化や核家族化が進み、地域社会を取り巻く環境が大きく変化しており、地域住民の福祉ニーズは複雑化・多様化しております。更には新型コロナウイルス感染への対応が必要となっております。

このような中、住民の誰もが安心して生活できるよう、住民目線の活動を基本とし、高齢者・障がい者・子育て家庭などの支援を必要とする人々をケアネット活動などにより、見守り・相談・支援につなげ、災害時には要援護者を住民とともに支え、助け合う地域コミュニティづくりを推進していきます。

これからも地域の皆様方の暖かいご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

*令和2年度 役員	
	氏名
会長	二口 憲夫
副会長	旭 忠秀
	四日 恵子
	野村 右二
総務	長田 恵子
	吉野富士子
会計	白石 美子
監事	宮崎 哲郎
	甲谷 年子

\*令和2年5月21日(木)  
総会(書面開催)において承認されました。

*令和2年度 理事			
所属団体	氏名	所属団体	氏名
放生津地域振興会 自治会長部会	宮崎 哲郎	児童クラブ	飯田 剛
	野村 右二	放生津校下防犯協会	中山 繁雄
	旭 忠秀	放生津小学校PTA	桧物 豊成
民生委員児童委員	二口 憲夫	新湊中学校PTA	澤谷 辰男
	帯刀 毅	八幡保育園保護者会	宮島晃伊知
	佐賀野伸之	放生津保育園保護者会	牛 龍樹
	野村 千春	放生津コミュニティセンター	吉野富士子
	長田 恵子	身障者協議会	油谷 幸雄
白鳩ボランティア	四日 恵子	食生活改善推進協議会	生地 祐子
	甲谷 年子	ヘルスポランティア	土海 縫子
	南島美枝子	交通安全協会放生津支部	杉田 寿義
	鵜 栄子	体育協会	伊藤 誠勝
		花と緑の銀行	片境 忠勝
母親クラブ	山口 純子	射水市消防団放生津分団	殿村 浩一
	森川 朋枝	保護司会	江尻 昭
	白石 美子	配食ボランティア	殿村 春美

## 地域行事中止のお知らせ

未だ収束の兆しが見えて来ない新型コロナの感染が続いている状況のなか、地域行事の「敬老会」「放生津文化祭」「住民ふれあいの集い」は今年度の開催は中止とさせていただきます。

毎年、地域の大勢の皆様が楽しみにしておられる行事が開催できないことは大変残念ではありますが、参加される皆様の安全を考慮しまして中止決定させていただきました。来年度以降また皆様と一緒に盛大に開催出来ることを願っています。



## 《新型コロナウイルス感染対策を地域のみなさんで 考えましょう!》

「地域の一人ひとりが防ぐ!」という意識

- × 自分ひとりぐらい大丈夫だろう……
- × 少し熱や咳があるけど休むと迷惑になるし……
- × いつも～してなかったけど、これまで大丈夫だったし……



- ◎手を洗う、咳エチケットを守る ⇒生活の基本
- ◎熱や下痢などの症状があったら休む ⇒療養の基本
- ◎受診は平日の日中にする ⇒受診の基本
- ◎ちいきのみんなが「うつさない!」と考えることが大切です!

# みんなの生涯学習・学級講座

## 青少年学級

### ● 5月19日(火)「交通安全教室」

共催 射水交通安全協会放生支部



射水警察署、射水市交通安全対策協議会、射水交通安全協会、交通安全協会放生津支部、放生津小学校の皆さんの協力を得、警察署の方からのわかりやすいお話の後、体育館にて、横断歩道の渡り方、道路の歩き方を学びました。また、正しい自転車の乗り方も実践しました。

いろんなところで、交通安全の話は聴いているはずなのですが、止まるべきところで止まらなかったり、いい加減な確認の仕方だったり、子供に教える事の難しさも感じました。

最近は、車での移動がほとんどで、歩く機会が少なくなってきているせいなのかもしれません。



## 生涯学習事業

### ● 7月25日(土)「土曜シアター・人生の約束」

あの時の感動を今一度！わが町で撮影が行われたテレビドラマ界の巨匠・石橋冠監督が捧げる「絆」と「再生」の物語。校下の皆さんと一緒に鑑賞する時間を設けました。新型コロナウイルス感染対策を充分にとってから、鑑賞会をしました。

みなさん、何回も観ておられる思い出の映画でしたが、時間がたつて改めて観ると、物語の内容が、ダイレクトに心に響いてくるとおっしゃっていた方が大勢おられました。

新型コロナウイルス感染で、不安な気持ちが少しでも和んでいただければと計画しましたが、実行してよかったと思いました。



## 女性学級

### ● 8月7日(金)「花うちわ作り」

本番のうちわに乘せる前に、紙の上に自分でデザインをするのですが、そのまま乗せるのではなく、最初から押し花を配置するため、結構、本番は気が張りました。

しかし、要領がわかると、皆さん思い思いに楽しんできれいに制作されていました。



# ～ 我が町のおんぞはん ～



38番

## ● 紺屋町 大楽寺山門前…… 38 番

紺屋町の地蔵堂は、大楽寺山門前にあり、町内18世帯で1ヵ月毎の交代当番制で、毎日朝晩のお参りの他、灯明、お花、供物等のお世話をしています。

当町の地蔵堂には大・中・小合わせて6体が祀られており、町内住民の方々から供養の為、家内安全・地域安全の為などの願いを込めて寄進されたと聞いています。このお地蔵様たちをこれからも町内守護神として、みんなで大切にお守りしていきたいと思っています。

毎年8月開催の地蔵盆では、早朝から多くの人の協力を得て“甘茶”を沸かし、この“甘茶”でお地蔵さんを洗い清め、祠等を拭くなど、当町伝統作法で清掃をし、提灯・幕・供物等の飾り付け後法要を行っていますが、当町では、ここ何年来就学児童がおらず子ども達と共に、一緒に供養していた頃の思い出を、懐かしく語るのも楽しみの一つとなっています。本当に寂しい限りですが、地蔵尊にまつわる古き良き風習の伝承は私たちの役目だと思っています。(世話方 手林)



48番



48番



## ● 獅子絵田 獅子絵田公民館前…… 48 番

今回、わが町のおんぞはん紹介は、獅子絵田公民館前に位置する地蔵菩薩です。

現在の御堂は昭和60年(1985年)に町内2か所にあつた地蔵尊を一緒にして、町内の皆さんの御協力で建立されました。

毎年7月下旬に地蔵尊まつりと納涼祭が行われてきましたが最近は高齢化の影響もあり地蔵尊祭りのみになっていますが、多くの方がお参りに見えていますし、他町内の皆さんも立ち止まってお参りされています。昭和45年(1970年)ころより毎日近所の大代さんが御仏飯等をお供えしてお世話を下さっています。今後もお守りしなければならぬと思っていますが、どうお守りしていくかは、高齢化影響で課題になりそうです。(世話方 大代 静子)

広報潮風では毎回放生津地区の「おんぞはん」の紹介をしています。町のおんぞはんをお守りされている方からの投稿をお待ちしています。

## 射水市花と緑の銀行放生津支店だより

「令和2年度 射水市花壇コンクール」街角花壇の部門において、放生津立町公園花壇が **銅賞** を **受賞** しました。



### 編集後記

この半年は新型コロナウイルスの感染拡大で明け暮れた日々でした。高齢者にとっては感染すれば重症化になるリスクが高いと言われている。まだまだ状況です。これからの正しい状況です。これからも「正しく恐れる」日常生活が続くようです。

今回のコロナによって、東京への一極集中の弊害が明らかになり、テレワークの普及もあり、移住が増えると言われている。都会から地方への移住が増えると言われている。

その意味では空家がたふさんある我が地域にも需要が出てくるのが予想されます。移住希望者への空家の紹介等を行っているNPO法人「水辺のまち新湊」では、成約する確率の高い空家は、古さよりも家の中がきちんとして片付いていること、コナによって自粛生活が続いているこの機会に、家の片づけを始めてみるのでは一度に片付けておらず、整理力に余裕が少しづつ整理をして行けば、外出自粛で衰えた体力の回復も図れ、一石二鳥にも三鳥にもなります。もしかしの発見につながるかもしれません。

(M・H)

